

ふるさと探訪

第14回 保国寺



中野にある保国寺は、聖武天皇の勅願寺として建立され、健治年中（1275〜77）に禅宗の寺となりました。保国寺には、国指定の文化

財が2つあります。

1つは、「木造仏通禅師坐像」で、昭和50年に重要文化財に指定されました。この像の地肌は黒光りしており、俗に

「黒仏さん」と呼ばれ、保国寺中興の開山であった傑僧の風格をよく再現しています。昭和45年には、日本の仏像代表として、アメリカのボストン美術館に出展されました。

もう1つは、同じく昭和50年に国の名勝に指定された「庭園」で、1430年ごろの築造とされて



保国寺山門
保国寺本堂



います。正面築山上に三尊石があり、その下に枯滝の石組を構え、左右の山畔から池辺にわたって多数の石を、また池中には亀島を配しています。これらの傑出した石組には室町時代特有の手法が見られ、庭園文化史上極めて価値の高いものです。

■住所 中野甲1681

TEL 0897-56-3357

■駐車場 あり(無料)